

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	介護相談員派遣事業		
事業担当	福祉部 介護保険課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心して生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等	介護保険法		
対象・受益者	介護サービス受給者等	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】【協働： <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
施設サービス等の利用者が、介護サービスに関する疑問や不満、不安などを介護相談員に相談し、介護相談員が利用者としてサービス提供事業者の橋渡し役になることにより、介護サービスの質の向上が図られています。		介護サービスの質の向上のため、サービス利用者の疑問や不満、不安などを聴き、施設の担当者との意見交換を行うなど施設と利用者の橋渡し役となる介護相談員を施設などに派遣します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	介護相談員派遣回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	1092	1200	1220	1280		
	実績	1064	1184	1085			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	介護相談員が受けた相談件数				単位	件
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	4000	5700	5800	6100		
	実績	5638	6192	5865			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	②：若干遅れている						
	遅れている理由	東日本大震災の影響による派遣予定のキャンセルなどが生じたため					
平成23年度の主な取組と成果							
介護サービスを利用している方が、介護サービスに関する疑問や不満、不安などを介護相談員に相談し、介護相談員が利用者としてサービス提供事業者の橋渡し役になることで、利用者の不安の解消や介護サービスの質の向上を図りました。							
平成23年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	介護保険法に基づく法定負担です。県は未実施の市町村に対し、実施するよう求めている状況ですが、本市は介護相談員事業を実施しています。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	介護保険法に基づく法定負担であり、介護サービス利用者の疑問や不安の解消につながり、苦情を未然に防ぐことができることから、有効です。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	介護保険法に基づく法定負担であり、妥当です。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	介護サービスの質の向上につながることから、給付適正化の一助となります。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		介護サービス提供事業所の新設が予定されていることから、派遣先の増加が見込まれます。従って、介護相談員の人数を増やす必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		介護相談員の施設などへの派遣	介護相談員の施設等への派遣	介護相談員の施設などへの派遣	介護相談員の施設等への派遣
財源内訳	国庫支出金	1,281	1,462	1,310	1,620
	県支出金	640	731	655	810
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	640	731	655	863
	一般財源	640	731	655	810
事業費 (A)		3,201	3,655	3,275	4,103
執行率 (%)		90.83	97.31	86.85	
内訳	職員 (人)	0.77	0.77	0.32	0.32
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		6,435	6,360	2,594	2,565
フルコスト (A+B)		9,636	10,015	5,869	6,668

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	介護相談員が施設等を訪問することで、サービス利用者の疑問や不満、不安等を直接聞くことにより、事業者と利用者の橋渡し役となって介護サービスのさらなる質の向上をめざします。また、新設される施設への確に介護相談員を派遣することができるよう、体制を整備します。
課長コメント	介護相談員派遣制度が認知され、なじみの関係も形成されており、相談件数・実績とも着実に成果があがっています。また、介護サービス提供事業所の新設が予定されていることから、平成25年度は相談員16名体制で更なる相談体制の充実と質の向上を目指します。